

## グローバル地域文化学部 アドミッション・ポリシー

グローバル地域文化学部は、学部で培った知見を十全に活用することにより、国内外のあらゆる場面で活躍し、本学の教育理念のひとつである国際主義を更に推進できる、良心と自由な精神を備えた人物の育成を目的としています。そのために次のような学生を求めています。

### グローバル地域文化学部の求める学生像

1. 世界の歴史や地理について基礎的な知識を持ち、グローバルな視点から各地の文化、歴史、社会について考える力を持った学生を求めています。
2. 現代世界が抱える諸問題に進んで関心を寄せ、それらの解決に向けて柔軟で独創的な方法を考え、社会に働きかける意欲を持つ学生を求めています。
3. 国際人として外国語の重要性を十分に認識し、一定以上の英語の能力を有すると同時に、英語以外の外国語の習得にも意欲を示す学生を求めています。
4. 本学部の目的をよく理解し、学部カリキュラムを通じて研かれた外国語能力と地域文化の知見に基づき、多様な意見を尊重する寛容さや協調性をもって国際社会に貢献しようとする学生を求めています。

### 履修しておくことが望ましい教科・科目

#### 外国語

世界の様々な地域の歴史や文化を理解し、そこに住む人々と意思疎通を図る上で外国語能力は不可欠です。とりわけ実質的に世界共通語の役割を担う英語の能力は重要です。文献やインターネットを通して必要な知識・情報を得るための英語の読解力はもとより、将来国際社会に貢献できる人間となるためには一定の英語コミュニケーション能力を備えていることも求められます。実用英語技能検定（英検）2級、あるいは TOEIC® Listening & Reading Test 500 点、TOEFL iBT®テスト 45 点、TOEFL PBT®テスト 450 点、IELTS 4.5 点以上の英語力を入学までに習得できるよう努力してください。

#### 国語

あらゆる文化的営みの基礎となるのが言語であり、他者の考えを理解し、自らの意見を主張するためにも、日本語能力は大変重要です。日本語能力は、社会に働きかけをしたり、研究内容を発信したりする上で広く求められる実用的なスキルでもあります。文学作品や論説文を的確に読み解き、その主題や趣旨を要約できる読解力や、問題点を整理し、自分の考えを論理的で説得力のある文章によって表現できる能力は、学部での学修や研究に不可欠です。日頃から文学作品や、日本や世界の文化・社会問題をテーマにした評論など、幅広い分野の読書を習慣づけるとともに、自分の考えを文章で表現する訓練を継続的に行うようにしてください。

## 地理歴史

世界の各地域固有の文化や社会、そうした地域の枠を越えてグローバルに展開する今日の世界情勢を理解する上で、また実際に世界で様々な活動をする上で、各地域の歴史や地理の基礎知識は不可欠です。今日の世界が抱える様々な問題を把握し、その解決策を考える上で、まずその地域あるいは複数の地域が相互に作用する今日的状況や歴史的流れを理解する必要があります。入学までに地理歴史を、単なる年号や人名および地名の羅列としてではなく、現代世界の諸問題を理解するために欠くことのできないものとして学んでください。

## 公民

今日の世界各地域の諸問題や、地域を越えて広がる様々な課題を考えていく上で、政治や経済に関する基礎知識が求められます。また、多様な思想信条、価値観を持った人々と国や地域を越えて理解し合っていくためには、そうした多様性を受け止めることのできる倫理的な基盤を確立しておく必要があります。今日の社会を動かしている政治や経済の仕組みと、多様な思想や宗教が人間生活において果たしている役割について、理解を深めるよう心がけてください。